

テスト方法・結果状況

< テスト方法 >

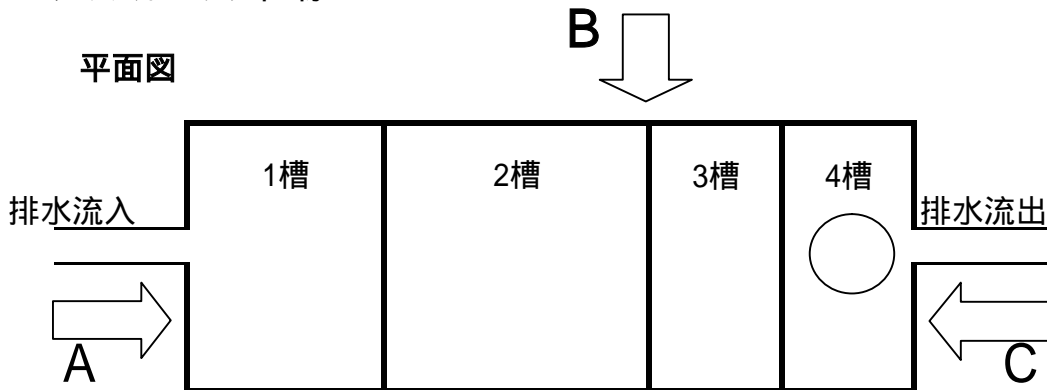
- 1 業務終了後、エコグリスをグリストラップに2.0、排水口より1.0を投入します。
- 2 エコグリスの投入日は、土日・祝日を除く、平日のみと致します。

平成20年

	日付		グリストラップ投入	排水口	写真撮影	備考
1	9月3日	水	2.0	1.0	午後3:00	使用前状況
2	9月4日	木	2.0	1.0		
3	9月5日	金	2.0	1.0		
	9月6日	土	1.5	-	午前11:00	3日目状況
	9月7日	日	-	-		
4	9月8日	月	2.0	1.0		
5	9月9日	火	2.0	1.0		
6	9月10日	水	2.0	1.0	午前6:00	5日目状況
7	9月11日	木	2.0	1.0		
8	9月12日	金	2.0	1.0		
	9月13日	土	-	-		
	9月14日	日	-	-		
	9月15日	月	-	-	午前11:00	8日目状況
9	9月16日	火	2.0	1.0		
10	9月17日	水	2.0	1.0		
	9月18日	木	-	-	午前6:00	10日目状況

< グリストラップ仕様 >

平面図



断面図



- * 上図記載A,B,Cは、撮影の方向を表します。
- * 第1槽のザルで生ごみを捕捉し、2・3槽で油脂分離を行います。

< テスト結果状況 >

使用前状況(9月3日午後3:00 現在 グリストラップ内写真)



A
(第1槽・第2槽)



B
(第2槽・第3槽)



C
(第2槽・第3槽・第4槽)

* 上記写真は、6日間(8/26～9/3)油脂排出したものです。

* 油膜が酸化し、固まり始めてます。(油脂が既に流出している可能性が高いです)

実施3日目(9月6日午前11:00 現在)



A
(第1槽・第2槽)



B
(第2槽・第3槽)



C
(第2槽・第3槽・第4槽)

* 油脂が柔らかくなり、分解していることを示しております。

実施5日目(9月10日午前 6:00 現在)



A
(第1槽・第2槽)



B
(第2槽・第3槽)



C
(第2槽・第3槽・第4槽)

-
- * 油膜が薄くなり、油膜がない部分も見え始めています。
 - * 早朝の日光により、実際よりも白く写っています。
 - * 第4槽での停滞油脂の減少が、顕著に見られます。
-

実施8日目(9月15日午前 11:00 現在)



A
(第1槽・第2槽)



B
(第2槽・第3槽)



C
(第2槽・第3槽・第4槽)

-
- * よりも残留油脂が、僅かに多い状況です。
 - * 土曜・日曜・祝日の投入が出来れば、完全に分解できる状況です。
-

実施10日目(9月18日午前 6:00 現在)



A
(第1槽・第2槽)



B
(第2槽・第3槽)



C
(第2槽・第3槽・第4槽)

-
- * よりも残留油脂が、減少しています。
 - * 早朝の日光により、実際よりも白く写っています。
 - * 9月16・17日に排出された油脂量分以上に、分解が進行していることを示しています。
-

< 結果・考察 >

- 1 写真にて、試験前6日間で蓄積された油脂は酸化し、既に悪臭を放っている状態を呈しております。写真以降の油脂残留量を維持することで、油脂分の流出は阻止できます。エコグリスを毎日投入することにより、グリストラップの維持・管理が容易に行うことが出来ます。
- 2 当初、グリストラップからの悪臭が酷かった為、グリストラップに発泡スチロールを被せ対応をされていました。エコグリスを投入することで解消いたしました。また、近隣住宅への悪臭防止対策としても有効であります。
- 3 業務終了後の投入に関して、エコグリスがグリストラップに留まることにより、より効果的な分解を行うことが出来ます。
(業務終了後とは、排水がグリストラップに流れ込まない状態を指します)
- 4 排水管での効果を現認できませんが、グリストラップ内にも見られる働きが行われています。特に古くからの設備は残渣が多量に付着し、詰まることで排水が逆流します。また、害虫や病原菌の温床となり食中毒の要因になります。